



BOXSCORE

【ボックススコア】

発行日: 2017/06/03

開催日: 2017/6/3

開始時間/終了時間: 18:19 TIP OFF / 19:46

会場: 東京体育館 Dコート

主審: 大河原 則人

副審: 石川 丈晴

正智深谷高等学校(埼玉) 96

23 -1st- 10
19 -2nd- 12
23 -3rd- 20
31 -4th- 31

73 前橋育英高等学校(群馬)

正智深谷高等学校(埼玉)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
4	*	常田 耕平(CAP)	19	3	10	2	6	6	6	4	0	3	3	3	3	1	0	37:46
5	*	川口 颯太	11	2	10	1	4	3	6	3	0	4	4	4	2	2	0	33:52
6	*	増田 英寿	30	0	0	13	23	4	7	0	4	10	14	3	0	4	1	39:02
7	*	中村 吏	11	0	0	4	12	3	5	4	0	3	3	2	1	2	1	29:21
8		山口 大成	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	05:01
9		渡部 琉	14	2	3	2	5	4	6	0	1	2	3	0	0	0	0	11:06
10	*	勝山 大輝	9	1	3	3	7	0	2	1	2	2	4	0	0	1	1	39:02
11		渡邊 圭悟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	00:58
12		小山 愁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:58
13		糸川 太一	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:58
14		國分 大雅																DNP
15		松本 大輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:58
16		石橋 椋																DNP
17		草野 颯斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	00:58
18		佐藤 雷人																DNP
TEAM SCORE			0			0	0			0	10	9	19	0				
合計			96	8	26	26	59	20	32	14	17	35	52	13	6	11	3	200:00
				30.8%		44.1%		62.5%										

前橋育英高等学校(群馬)

No.	S	Player	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TR					
4	*	相川 勇樹(CAP)	13	2	5	3	6	1	5	2	2	2	4	1	3	1	0	23:50
5	*	黒岩 大和	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18:02
6	*	大山 将平	17	0	12	8	12	1	1	1	0	5	5	3	2	0	0	36:08
7	*	瀧 稜太	12	2	7	3	9	0	0	4	3	3	6	3	1	0	1	27:08
8		榊原 彬士	8	2	6	1	4	0	0	4	0	1	1	1	1	0	0	16:06
9		船戸 海惲	6	0	0	3	3	0	0	3	1	0	1	0	0	2	1	11:14
10		柴多 慧	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:58
11		近藤 虎ノ介	4	0	1	1	2	2	2	3	0	2	2	0	1	1	0	10:10
12		津久井 洋暉	2	0	2	1	6	0	0	1	0	2	2	0	0	3	0	22:33
13	*	萩原 健斗	4	0	0	2	4	0	0	4	0	1	1	1	0	1	0	17:01
14		土田 昇平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	00:58
15		入澤 翔	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	06:09
16		村上 翼	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:58
17		野本 康悟	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	1	4	0	0	0	07:47
18		田中 勇颯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	00:58
TEAM SCORE			0			0	0			0	12	12	24	0				
合計			73	7	35	24	53	4	8	24	18	29	47	15	8	8	2	200:00
				20.0%		45.3%		50.0%										

PTS: ポイント
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FG: フィールドゴール

M: 成功
A: 試投
FT: フリースロー
F: ファウル

OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド
TR: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー

AS: アンスト
ST: スティール
BS: フロックスショット
MIN: 出場時間(分)

S: スターター
%: シュート率
OT: 延長

両チームともマンツーマンでスタート。速い仕掛けから先制点を挙げたのは前橋育英。アグレッシブな1対1からミドルを沈める。対する正智深谷も激しいディフェンスから速い展開に持ち込み、#5の3Pや高さをいかしてオフェンスリバウンドを拾い得点につなげる。両チーム持ち味を出した激しい攻防の中、正智深谷の#4が2本の3Pを決め17-8とリードを広げたところで前橋育英タイムアウト。その後シュートが決まらない前橋育英はオフェンスリバウンドで粘りを見せるものの、正智深谷の攻撃にファールが続き失点を許す。第1ピリオドは23-10正智深谷リード。

第2ピリオド、ボールマンに対して寄りが速い正智深谷のディフェンスが徐々に効き始め、オフェンスでも#6のインサイドやミドルで加点し29-10とリードを広げる。これ以上離されたくない前橋育英は、#6の1対1やスクリーンを使ってオフェンスを組み立てながら力強いドライブを仕掛ける。両チームリバウンドを激しく奪い合い攻撃につなげながら前橋育英はドライブやブラインドからの合わせで加点。正智深谷は#6のミドルで加点し譲らず、42-22と正智深谷が20点差をつけて前半終了。

第3ピリオド、前橋育英#7、#4が3Pを決めれば、正智深谷も速攻や#4のバスケットカウントで譲らない。拮抗した状態が続く中、リバウンドから速い展開に持ち込み始めた正智深谷がディフェンスでも主導権を握り前橋育英の攻撃を抑え、少しずつリードを広げ始める。苦しい前橋育英はオールコートで激しくボールを奪い、攻めては#6のドライブや#4の3Pで追いかけるがリードは変わらず65-42で正智深谷。

第4ピリオド、前橋育英の#8が3P、ミドル、ドライブと連続得点で気を吐くと、正智深谷も速い展開から#5を中心に外角シュートを沈める。リードを縮めたい前橋育英は速いパス回しからミドルやドライブで追いかけるが、最後まで手を緩めない正智深谷を相手に点差は埋まらず、両チーム最後はメンバーを変え96-73で正智がベスト4に駒を進めた。

持ち味である激しいディフェンスからの速い攻撃で育英を寄せ付けなかった正智の攻守が際立つゲームであった。